

リリース情報

ビジネスソリューション

- [ホーム](#)
- [トピックス](#)
- [リリース情報](#)
- [セミナー情報](#)
- [展示会・イベント情報](#)

コニカミノルタ、大阪教育大学と産学共同研究を実施  
～「QRコード」を“作る・活かす”複合機で、教育現場の業務効率化に寄与～

2013年5月22日

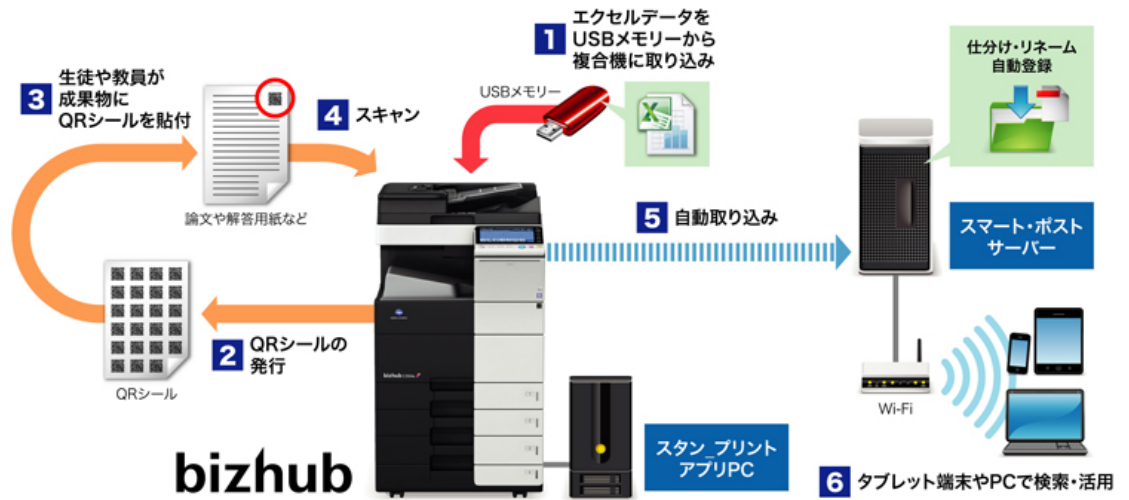
コニカミノルタビジネスソリューションズ株式会社(本社:東京都中央区、社長:和田 幹二、以下 コニカミノルタ)は、国立大学法人 大阪教育大学(以下 大阪教育大学)と「2次元バーコード(QRコード※)を活用したクラウド型文書活用(スマートポスト計画)」を研究テーマとして、複合機(MFP)を活用した教育ICT分野でのソリューション開発およびそれを活用した実践検証を実施しましたのでお知らせいたします。

コニカミノルタは、お客様の多様化する課題やご要望に応えるため、主力製品であるA3複合機を活用したソリューションをご提供してまいりました。教育現場の課題として、紙文書で日々蓄積する学習成果物の適切な管理、一括処理困難な成果物の電子化への工数削減が挙げられます。当社は、先生方の身近にある複合機を用いたソリューション開発を大阪教育大学と2012年4月より開始しております。

スマートポスト計画の具体的な取り組みの一つとして、複合機を使い、「QRコードシール」を一括印刷するシステム“スタン\_プリント”を開発いたしました。それにより、先生方は1クラス分の「QRコードシール」を短時間で作成可能となりました。PC画面で、クラス名・生徒名・学籍番号や学習内容などの必要な情報を入力したエクセルファイルをUSBメモリへ保存すれば、複合機にそれを取り込むだけで操作パネル上へ簡単に呼び出すことができ、自動的に1クラス分のQRコードを一括でシール紙に生成できます。作業時間の解析を行ったところ、QR作成作業時間(1クラス40名分)が従来の1/13(平均40分から約3分)に短縮され、本システムの有効性が確認されました。

また、当社の簡単スキャンツール『仕分け名人』を利用すれば、「QRコードシール」の貼られた生徒提出物を、複合機でスキャンするだけで、サーバー上の適切なフォルダに自動的に仕分けされ、予め指定されたファイル名が付記され、データの蓄積ができます。これにより、共用ファイルサーバーへの保存でありがちなファイルの埋没を回避できるようになります。また、スマートポスト計画で提案するファイル名規格を用いる事により、多様なクラウドデータベースへの柔軟な活用が見込まれます。今後は、教育現場でのさらなるナレッジ共有と業務効率化に向け、電子端末と連携するクラウドサービス活用に対するソリューション開発を進めてまいります。

【システムイメージ図】



当社は、教育現場と複写機メーカーが共に研究開発することで、デジタルとアナログの融合を図り、そこで培った研究成果やノウハウを文教市場で技術貢献するとともに、各市場のニーズに合致したソリューション提供を積極的に行ってまいります。

※ QRコード: Quick Responseコードの略。(株)デンソーウェーブの登録商標で、日本で最も普及している2次元コードです。  
\* 共同研究:「2次元バーコードを活用したクラウド型文書活用(スマートポスト計画)」、共同研究代表:特任准教授 仲矢史雄」

[ページトップへ戻る](#)